

令和7年度 施策評価シート

基本目標	V 区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政 策	540 多様な主体が参加する区政のしくみをつくる
施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する
施策の目標	区民やすみだに関わる人に、まちへの愛着が育まれ、すみだでの暮らしや活動に誇りを持っています。さらに、多様な主体が互いにつながりを深めて、共に取り組む地域力を活かしたシティプロモーションを推進して、“すみだの夢”実現に取り組んでいます。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「自分にとって必要な区の情報が入手できている」区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	52.9%	—	—	—	60.0%
実績	52.9%	—	—	—	53.3%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	70.0%
実績	—	—	—	—	

指標名	墨田区公式ホームページの閲覧数				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	15,904,068	—	—	—	20,000,000
実績	23,258,895	26,041,276	27,359,192	32,439,359	35,400,939
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	20,000,000
実績	23,608,053人	21,661,929	23,244,404	22,123,475	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
すみだに愛着や誇りをもつ区民や魅力的だと思う人を増やすためには、地域と協働で区の資源や魅力を掘り起こし、各主体の広報活動を活性化させ、まちの魅力の伝え合いの好循環が創出された、区全体でのシティプロモーションの展開が必要である。このために、さらなる区への信頼獲得につなげるため、職員の広報マインドを向上させ、全庁一丸となった区民・事業者目線での情報発信と共有、媒体特性に応じた戦略的な広報、メディア掲載機会の増加等、スタッフプライドの醸成が求められる。	R4	328,848
	R5	328,290
	R6	343,995

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
A	区民の愛着・誇り、職員としてのスタッフプライドを醸成し、区民と職員が協働でシティプロモーションを展開するという成果が出てきている状況にある。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
●	(1) 優先的に資源投入を図る
○	(2) 現状維持とする
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
「すみだの夢」を実現するためには、各種施策・事業に磨きをかけ、区民と職員がその様々な視点での魅力を共有・共感し、区内外に一緒に発信する仕組みが重要である。	
今後の具体的な方針	
・「すみだのシティプロモーション」をより戦略的に推進し、その考えをまち全体に浸透させる。 ・全庁一丸となったシティプロモーションを展開する。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	SDGs推進事業	行政経営担当	3,000	8,239	11,239	改善・見直しのうえ継続
2	音声・映像による広報経費	広報広聴担当	33,120	18,308	51,428	現状維持
3	広報写真関係費	広報広聴担当	654	18,308	18,962	現状維持
4	公式ホームページ運営費	広報広聴担当	9,694	9,154	18,848	現状維持
5	すみだ暮らしのガイド等発行経費（広報活動費）	広報広聴担当	3,405	4,577	7,982	現状維持
6	区長への手紙経費（広聴活動費）	広報広聴担当	0	6,408	6,408	現状維持
7	住民意識調査経費（広聴活動費）	広報広聴担当	3,210	1,831	5,041	現状維持
8	中学生区議会経費（広聴活動費）	広報広聴担当	72	2,746	2,818	現状維持
9	職員報ひろばの発行事業	広報広聴担当	0	2,746	2,746	現状維持
10	区のお知らせ印刷・配布経費	広報広聴担当	56,987	45,770	102,757	改善・見直しのうえ継続
11	広報戦略の推進経費	広報広聴担当	23,559	18,398	41,957	改善・見直しのうえ継続
12	法律相談、区民相談、専門相談の実施	広報広聴担当	12,061	17,061	29,122	改善・見直しのうえ継続
13	区民情報コーナーの管理運営経費（区民相談室運営費）	広報広聴担当	5,479	20,256	25,735	改善・見直しのうえ継続
14	区勢概要発行経費（広報活動費）	広報広聴担当	1,756	2,746	4,502	改善・見直しのうえ継続
15	国内都市との交流推進経費	文化芸術振興課	635	7,323	7,958	改善・見直しのうえ継続
16	SDGs未来都市推進経費	産業振興課	1,000	5,492	6,492	改善・見直しのうえ継続

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	SDGs推進事業					
主管課	行政経営担当				電話番号（内線）	3714
目 的	内閣府から、令和3年度「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」として選定されたことに伴い、SDGsの概念及びその達成に資する事例等の周知・啓発により、区民や区内事業所等のSDGsへの関心や理解を高め、持続可能なまちづくりに向けた個人や企業・事業者、職員の具体的な行動変容促進を図る。					
対 象 者	区民・事業者・職員					
根拠法令 関連計画	墨田区SDGs未来都市計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	2人	
事業内容	1 様々な主体と連携したSDGsの啓発活動を行い、区民、企業・事業者、職員に対して行動変容の促進を図る。 2 「すみだ公民連携デスク」の運営を通して、事業者・団体からの問い合わせや提案を受け付け、内容に応じて関係所管課につなぎ、マッチング事例を創出する。 3 「すみだ未来都市共創フォーラム」の開催により、SDGsに取り組む主体同士をつなぎ、取組の相乗効果を生み出す。 4 「すみだSDGsアワード」表彰式を開催し、墨田区SDGs宣言を行った取組のうち、特に優れた取組をモデルケースとして表彰する。					
経 過	開始年度	令和3年度			終了予定	
	令和3年度 「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」として内閣府より選定 令和4年度 「すみだ公民連携デスク」設置 令和5年度～ 「すみだ未来都市共創フォーラム」実施 令和5年度 墨田区のお知らせ（墨田区SDGs特集号）発行 令和6年度～ 「すみだSDGsアワード」の実施					
議会質問 の 状 況	[令和4年6月議会企画総務委員会] すみだ公民連携デスクの実績と今後の展望について [令和4年度決算特別委員会] 啓発活動に関する具体的な実績と今後の進め方について [令和5年2月議会企画総務委員会] すみだ未来都市共創会議の目的と効果について [令和5年12月企画総務委員会] 協定締結先との今後の連携について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	17,000	10,325	6,500	3,000	3,740
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	16,328	10,316	6,465	3,000	3,740
財 源	国	0	16,328	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	3,740
一般財源		0	0	10,316	6,465	3,000	0
執行率（％）		－％	96.05％	99.91％	99.46％	100％	100％
B. 人コスト		0	13,194	12,269	12,768	8,239	
総事業費（A+B）		0	29,522	22,585	19,233	11,239	
予算書P（令和7年度）		84		執行実績報告書P（令和6年度）		23	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	5,008	委託料	3,000	委託料	3,740
需用費	875				
役務費	583				
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	すみだ公民連携デスクの問合せ件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		20	令和７年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	20	20	20
		実績	—	—	19	20	21	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		令和４年度から開始した公民連携に関する相談受付に基づき、相談者に伴走する形で各所管課との橋渡しを行うことは、公民連携の活性化につなげる上で重要な指標と判断し、活動指標とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	住民意識調査におけるSDGsに取り組む区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		40	令和７年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	40	—
		実績	—	—	30.5	—	33.4	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		令和４年度の住民意識調査における、「SDGsを認知し、日常生活にSDGsの達成につながる行動を取り入れている（取り入れたことがある）」の回答割合を基準値としている。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	SDGsの達成には、行政が取り組むだけでなく、区民や事業者、職員がSDGsについての理解を深め、「具体的な行動」を起こすことで、取組の輪を広げる必要がある。

課題・問題点
・行動変容を促す普及啓発の内容及びその機会の創出 ・SDGsの浸透度の定期的な計測及びその分析

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	音声・映像による広報経費					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3613, 3643
目 的	区民に対して、区政の現状や区の魅力を映像でわかりやすく伝える。また、公式YouTubeチャンネルで番組動画等を配信し、区内外に対して、区を取組をPRすることで、墨田区への関心・理解を深めてもらい、区のイメージアップに繋げる。					
対 象 者	区民等					
根拠法令 関連計画	墨田区シティプロモーション戦略プラン(令和4年度～令和7年度)					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2名・(株)ジェイコム東京、(株)DSJ	
事業内容	区民に、区政の現状を映像で分かりやすく伝えることを目的とした事業として実施しており、現在は、J:COM11chで区政情報番組「ウィークリーすみだ」として放映（15分間放送・1日4回：9時/12時/16時/20時）している。 ※庁舎内及び各施設にCATV受信機器を設置。 番組データはDVDとして貸出しを行っているほか、区公式YouTubeチャンネルで動画配信している。 事務手続きについては、基本として、番組コーナーの企画立案は区が行い、構成台本は区の事業紹介については区が、街ネタ等の紹介については委託事業者が作成している。取材先の連絡・調整・交渉は区が行い、撮影および映像編集を委託事業者が行っている。 また、区公式YouTubeチャンネルで、「すみだまちかど放送局」という街ネタ等の紹介動画を毎月3本程度配信している。なお、事務手続きについては、上述のとおりである。					
経 過	開始年度	平成7年度			終了予定	
	平成3年度：都市型CATV活用方策の調査検討を行い、電波障害解消と新しい情報メディアの活用という面から、区が関わっていく方向性を定めた。 平成7年10月：区からのお知らせや問題提議を内容とする区政情報番組の提供・放送を開始 平成24年4月：区ホームページ上で番組の動画配信を開始 平成28年10月：シティプロモーションの一環として、視聴エリア外への配信等を目的に、区公式YouTubeチャンネルで番組動画の配信を開始 令和3年4月：区公式YouTubeチャンネルで、YouTube番組として「すみだまちかど放送局」の定期配信を開始 令和6年4月：一部番組に手話・字幕表示を導入開始					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	【「ウィークリーすみだ」放送スケジュール】 J:COM11chで1日4回放送：午前9時/12時/16時/20時。15分番組。毎週、放送内容を変更。※放送後、YouTubeでも配信。 【「すみだまちかど放送局」配信スケジュール】 区公式YouTubeチャンネルで、YouTube番組として毎月3本程度配信。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		38,206	32,586	32,867	32,966	33,131	34,853
A. 決算額（令和7年度は見込み）		37,367	32,471	32,867	32,880	33,120	34,853
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	163	110	221	110	120	120
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		37,204	32,361	32,646	32,770	33,000	34,733
執行率（％）		97.8％	99.65％	100％	99.74％	99.97％	100％
B. 人コスト		17,644	17,592	16,358	17,024	18,308	
総事業費（A+B）		55,011	50,063	49,225	49,904	51,428	
予算書P（令和7年度）		P85-3		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-3	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	32,327	委託料	32,568	委託料	34,252
役務費	553	役務費	553	役務費	601
概 要		概 要		概 要	
役務費：CATV導入経費 委託料：番組制作・映像委託他		役務費：CATV導入経費 委託料：番組制作・映像委託他		役務費：CATV導入経費 委託料：番組制作・映像委託他	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	公式YouTubeチャンネルの登録者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		9,000	令和7年度	目標	-	-	-	-
				実績	56	259	415	678
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	3,000	5,000	6,000	8,000	9,000
		実績	1,862	3,960	5,611	7,652	8,942	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		CATV視聴率の測定が不可能であるため、チャンネル登録者数を指標とする。近年、動画での情報収集のニーズが高まっており、登録者数も増加傾向にあるため、最終目標値を9,000人と設定した。						
事業の 成果	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	住民意識調査で区政情報をCATVで入手と回答した割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		10	令和6年度	目標	6.5	-	7	-
				実績	6.7	-	8.7	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	-	9.5	-	10	-
		実績	6.3	-	6.7	-	4.9	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民が区政情報をどのような手段で取得しているかを端的に示すものであるため成果指標とする。直近の推移は6～9%となっているため、ピーク時の9%を超える10%を最終目標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公式YouTubeチャンネル登録者数は令和7年3月31日時点で、8,942人(参考：SNS分析（令和7年4月1日時点）により、人口比率では23区中4位)であることから、一定のニーズがあると考えられる。区政情報を映像で伝えるメディアとして今後も継続していく。

課題・問題点
CATVの視聴率の測定はシステム上、不可能であるため、指標の設定が困難であり、正確な効果検証がしづらい状況にある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	広報写真関係費					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3642
目 的	区の魅力を広く報道機関等へ発信することで、区内外に本区の情勢を効果的に訴求する。また、報道機関等に対するパブリシティの強化により、区及び区政に関するニュースや情報を拡散し、区のイメージアップを図ること で、区民だけでなく、区外の方々に対しても墨田区に関する情報への理解を深めてもらう。					
対 象 者	報道機関等					
根拠法令 関連計画	墨田区シティプロモーション戦略プラン（令和4年度～令和7年度）					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名	
事業内容	新聞やテレビ等のマスコミに対し、区政の動きや、まちの話題に関する情報を提供するとともに必要に応じて記者発表などを行っている。また、各課や管轄内のイベント等の写真撮影を行い広報写真として記録・保存している。					
経 過	開始年度	昭和29年度			終了予定	
	平成17年度に取材用にデジタルカメラを導入、平成27年度にデジタル一眼レフカメラを導入。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	（年間スケジュール） ①記者懇談会（必要に応じて議会前などに開催・令和6年度は1回実施） ②記者会見（必要に応じて随時開催・令和6年度は実施なし） ③予算プレス発表（2月ごろ） その他、月10件程度「まちの話題」や「新規事業」等についてプレスリリースを実施					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		840	803	707	798	784	627
A. 決算額（令和7年度は見込み）		794	736	618	730	654	627
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		794	736	618	730	654	627
執行率（％）		94.52％	91.66％	87.41％	91.48％	83.42％	100％
B. 人コスト		8,822	8,796	8,179	17,024	18,308	
総事業費（A+B）		9,616	9,532	8,797	17,754	18,962	
予算書P（令和7年度）		P85-1(4)		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-1(2)	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	592	役務費	539	役務費	447
使用料及び賃借料	99	使用料及び賃借料	99	使用料及び賃借料	99
需用費	39	需用費	16	需用費	81
概 要		概 要		概 要	
需用費：カメラ等修繕、消耗品購入等 役務費：ケーブルインターネット使用料 使用料及び賃借料：PC等借上		需用費：カメラ等修繕、消耗品購入等 役務費：ケーブルインターネット使用料 使用料及び賃借料：PC等借上		需用費：カメラ等修繕、消耗品購入等 役務費：ケーブルインターネット使用料 使用料及び賃借料：PC等借上	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	プレスリリースの件数（記者会見、事前告知を含む）				単 位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		132	令和7年度	目標	120	120	120	120
				実績	130	122	119	105
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	132	132	132	132	132	132
		実績	181	246	150	162	155	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		パブリシティ活動の動態を示す明確な指標であるため。例年、毎月10回のリリースを目標としてきたが、さらに、東京2020大会を機に毎月11回を目標とし、現在継続中。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	プレスリリースの掲載数				単 位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		75	令和7年度	目標	60	65	65	65
				実績	81	68	72	72
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	68	70	73	75	75	75
		実績	111	81	99	109	101	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		プレスリリースの掲載数は区政情報の発信力を表す明確な指標である。過去の掲載数は年間約70件であるため、これを基準として75件の掲載を目指す。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の情報が新聞等に掲載されることによる社会的かつ経済的効果は非常に高く、また区以外の他機関では当該目的を遂行することが不可能であるため、今後も継続して実施すべきである。

課題・問題点
有事・平時の様々な状況に応じて、パブリシティをどのように強化していくか考える必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	公式ホームページ運営費					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3616
目 的	わかりやすく開かれた区政を実現するために、区の公式ホームページを通じて区政全般に関する情報を発信することで、利用者がいつでも区に関する情報を入手できるようにする。					
対 象 者	区の公式ホームページ閲覧者					
根拠法令 関連計画	墨田区行政情報化推進計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1名、委託先：株式会社日立社会情報サービス	
事業内容	インターネットを通じて、区政全般に関する情報をわかりやすく提供する。 コンテンツ情報の掲載については、コンテンツマネジメントシステム（CMS）を利用しており、主管課においてCMSで作成したコンテンツが定期的にホームページに公開される。					
経 過	開始年度	平成12年度			終了予定	
	平成12年7月 開設 令和2年1月 コンテンツ・デリバリー・ネットワーク（CDN）導入 令和2年9月 リニューアル 令和4年9月 多言語翻訳対応 令和7年9月 契約期間終了に伴うシステム再構築予定					
議会質問 の 状 況	（令和元年災害対策特別委員会） ・台風19号接近時にホームページが閲覧しづらくなったことへの対策について、CDN（コンテンツ・デリバリー・ネットワーク）サービスを導入し、平常時も含めてアクセス集中時の負荷分散を行った。 （令和6年11月本会議） ・利用者にとってより分かりやすいホームページになるように、改善や機能の拡充を行っていくことについて令和7年度の契約期間終了に伴うシステム構築の際に、内容の見直しや機能拡充等、適切に行っていく。					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 平成21年度には、全国すべての都道府県・区市町村で公式ホームページが開設されている。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		9,075	9,417	12,588	9,764	9,726	19,291
A. 決算額（令和7年度は見込み）		9,073	9,415	11,488	9,731	9,694	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	1,460	2,310	3,860	3,210	2,445	5,700
一般財源		7,613	7,105	7,628	6,521	7,249	13,591
執行率（％）		99.98％	99.98％	91.26％	99.66％	99.67％	－％
B. 人コスト		6,175	8,796	8,179	8,512	9,154	
総事業費（A+B）		15,248	18,211	19,667	18,243	18,848	
予算書P（令和7年度）		P86-6		執行実績報告書P（令和6年度）		P25-6	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
使用料及び賃借料	6,332	使用料及び賃借料	6,332	委託料	15,912
委託料	3,223	委託料	3,223	使用料及び賃借料	3,208
役務費	140	役務費	141	役務費	156
需用費	36			需用費	15
概 要		概 要		概 要	
ホームページ管理システムの借上、運用・保守業務委託		ホームページ管理システムの借上、運用・保守業務委託		ホームページ管理システムの借上、契約更新に伴うシステム構築及び運用保守業務委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区公式ホームページの閲覧数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		20,000,000	令和7年度	目標	15,904,068	17,000,000	18,000,000	19,000,000
				実績	23,258,895	26,041,276	27,359,192	32,439,359
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000
		実績	35,400,939	23,608,053	21,661,929	23,244,404	22,123,475	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用実績として閲覧数を指標として選定している。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区政情報の入手方法における公式ホームページの割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		40	令和7年度	目標	29.6	－	33	－
				実績	29.6	－	27.7	－
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	35	－	38	－	40	40
		実績	45.2	－	38.4	－	36.6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		住民意識調査（隔年実施）の「区政情報の入手方法」の割合から、区民に情報ツールとしてのホームページがどの程度浸透しているかを測り、基準年から10%の増加を目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区公式ホームページは区政情報を効果的かつ効率的に提供する方法であり、今後も利用状況等を検証しながら継続実施する。

課題・問題点
必要な情報を速やかに掲載できるように全庁で取組んでいく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	すみだ暮らしのガイド等発行経費（広報活動費）					
主管課	広報広聴担当			電話番号（内線）	3615	
目 的	生活に密着した各種サービス等を掲載した便利帳やガイドマップを利用することで、区民等が必要な情報を入手することができるようにする。					
対 象 者	転入者、区の情報を必要とする区民					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名	
事業内容	【すみだ暮らしのガイド（旧わたしの便利帳）】 区の各種手続きや事業案内、施設情報などをまとめた冊子を作成し、転入者や希望者に対して配布している。 【外国語版生活便利帳】 外国人にとって利便性の高い各種手続きや事業案内、施設情報などをまとめた冊子を作成し、転入者や希望者に対して配布している。 【すみだガイドマップ】 区内の地図を作成し、転入手続きをした方に対して配布している。また、希望者にも配布をしている。					
経 過	開始年度	昭和45年度			終了予定	
	【すみだ暮らしのガイド（旧わたしの便利帳）】 発行開始以降は、3年に1度発行していたが、平成25年度からNTTタウンページに年度ごとに合冊するかたちで発行していたが、29年度をもって終了（平成30年度は、合冊されたものの抜粋版を作成）。令和元年度から発行形態を刷新し「すみだ暮らしのガイド」として発行（令和4年度改訂）のもと、転入者や希望者に対して配布している。 【外国語版生活便利帳】 平成22年度、平成26年度、令和2年度に改訂している。 【すみだガイドマップ】 平成元年度発行開始以来、直近では、2024年11月（令和6年度）に改訂をした。					
議会質問 の 状 況	【便利帳】 [平成31年 予特] 今後行政で作成する便利帳の発行・配布方法について 30年度からNTTの事業でタウンページとの合冊は行わないこととなった。 今後は、暮らしに必要な情報に絞って作成し、全戸配布は行わず、転入者や希望者等に向けて配りたいと考えている。					
そ の 他 特記事項	【便利帳】 他区でも同様の冊子を発行している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		3,458	1,746	5,562	1,855	3,407	7,663
A. 決算額（令和7年度は見込み）		2,538	1,272	5,374	1,605	3,405	7,663
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	60	0
一般財源		2,538	1,272	5,374	1,605	3,345	7,663
執行率（％）		73.4％	72.85％	96.62％	86.52％	99.94％	100％
B. 人コスト		1,764	1,759	4,090	4,256	4,577	
総事業費（A+B）		4,302	3,031	9,464	5,861	7,982	
予算書P（令和7年度）		P85-1(3)		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-1(1)ウ	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	1,605	需用費	3,405	委託料	4,944
				需用費	1,974
				役務費	745
概 要		概 要		概 要	
・ マップ（外国語）増刷 ・ 暮らしのガイド増刷		・ マップ印刷（日本語、外国語） ・ 暮らしのガイド増刷		・ 暮らしのガイド改訂 ・ 外国語版生活便利帳改訂	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	作成部数（暮らしのガイド）				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		70,000	令和7年度	目標	-	-	20,000	70,000
				実績	207,350	203,880	20,000	70,000
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績	-	-	20,000	20,000	20,000	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		平成29年度をもってタウンページ合冊版の「わたしの便利帳」は終了。令和元年度より「暮らしのガイド」として作成。年間の転入者数をもとに作成部数を決定している。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	配布部数（暮らしのガイド）				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		24,000	令和7年度	目標	-	-	20,000	24,000
				実績	207,350	203,880	7,220	7,650
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	23,000	23,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績	11,890	17,970	23,570	20,510	18,500	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民の生活に関わる身近な情報源の一つとして活用してもらえるように、転入者や必要とする区民へ随時配布する。作成部数を目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	「暮らしのガイド」について、先の発行形態の見直しを踏まえ、転入者を意識した編集に努めていく。また「外国語版便利帳」については、住む方の国籍が多様化していることを踏まえ「やさしい日本語」を導入するなど改訂していく。さらに「ガイドマップ」について、今後も発行時点で最新の情報を可能な限り反映し、掲載していく。

課題・問題点
各媒体の特性に合わせ、効果的な掲載情報の充実を図っていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	区長への手紙経費（広聴活動費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3614
目 的	区長及び区政に対する意見・要望等を伺い、区政運営に反映させることで、区民に信頼される行政運営を推進する。					
対 象 者	区政に対して意見、要望、提案、苦情、質問等がある方					
根拠法令 関連計画	墨田区シティプロモーション戦略プラン 墨田区区長への手紙に関する取扱要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名	
事業内容	・墨田区へのご意見・ご要望の受け付け 広聴はがき、ホームページ、電話等様々な手段により、区長及び区政に対する意見・要望等を聴取・把握する。 なお、寄せられた意見等については、必要に応じて区長へ報告するとともに、通報者への迅速な回答を担当課に依頼し、結果報告を求める。					
経 過	開始年度	昭和47年度			終了予定	
	昭和47年：区長への手紙事業開始 平成12年7月：墨田区公式ホームページの開設に合わせて区長への手紙をホームページに導入 平成30年3月：区民の声をデータベース化し、寄せられたご意見の検索システムを稼働 ※ 月別、カテゴリー別での検索を可能とした。					
議会質問 の 状 況	【平成29年度 決特】 データベース化について →平成30年3月 区民の声をデータベース化し、ホームページ上で公開している。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	90	0	103	0	49
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	88	0	53	0	49
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	88	0	53	0	49
執行率（％）		－％	97.78％	－％	51.46％	－％	100％
B. 人コスト		8,822	6,157	5,725	5,958	6,408	
総事業費（A+B）		8,822	6,245	5,725	6,011	6,408	
予算書P（令和7年度）		P85-4		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-4	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	53			需用費	49
概 要		概 要		概 要	
広聴はがき作成等				広聴はがき作成等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	寄せられた意見の件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		800	令和7年度	目標	900	900	950	1,000
				実績	906	985	826	1,200
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,300	1,300	1,100	1,000	900	800
		実績	1,747	1,238	1,533	910	746	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用件数を指標とする。目標値については、本来、区民の考えが反映された行政運営が行われることで寄せられる意見・要望が年々減少していくことが望ましい。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	上記のうち、解決した（対応した・理解を得た）割合				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和7年度	目標	100	100	100	100
				実績	99.4	99.1	95.5	97.3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	98.6	97.2	99.7	99.6	99.6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		対応可能なものは迅速に対応し、現状では実現困難は誠実に説明のうえ理解を得る努力が必要であり、寄せられた意見のうち、解決した（対応した・理解を得た）割合を指標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	寄せられた意見を迅速に区長へ報告し、主管課へ情報提供する手段が確立されており、継続実施する。

課題・問題点
現在、区民の声をデータベース化し、ホームページ上で公開しており、今後、様々な工夫をしながら検索性などの向上を図っていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する				
事 業 名	住民意識調査経費（広聴活動費）				
主管課	広報広聴担当	電話番号（内線）	3616		
目 的	区政の各分野における区民意識や意向を把握し、区政運営の参考とする。				
対 象 者	満18歳以上の区民				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1名、委託先：株式会社タイムエージェント
事業内容	区民の意識や意向を把握する方法の一つとして、2年に1回実施している（令和7年度は実施しない年度）。各主管課から聴取した調査項目を基に、広報広聴担当で調査票を作成。 墨田区在住の満18歳以上の個人（外国籍を含む）から3,000人を無作為に抽出し、調査票の回答を依頼する。回答結果から報告書を作成し、区情報コーナーや各図書館、区公式ホームページ上などで公開している。				
経 過	開始年度	昭和45年度		終了予定	
	昭和45年10月：第1回世論調査を実施。 昭和57年度：「住民意識調査」に名称変更。 平成30年度：対象者を1,500人から3,000人へ拡大。また、配付・回収方法を、訪問配付・訪問回収から郵送配付・郵送回収に変更。 令和4年度：郵送回答に加えて、インターネット回答を実施。				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		3,232	0	4,004	0	3,210	0
A. 決算額（令和7年度は見込み）		3,232	0	3,672	0	3,210	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,232	0	3,672	0	3,210	0
執行率（％）		100％	－％	91.71％	－％	100％	－％
B. 人コスト		1,764	0	1,636	0	1,831	
総事業費（A+B）		4,996	0	5,308	0	5,041	
予算書P（令和7年度）		－		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-4	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
		委託料	3,168		
		需用費	42		
概 要		概 要		概 要	
		・調査委託費 ・郵送用ラベル購入			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	有効回答者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,500	令和6年度	目標	1,200	—	1,500	—
				実績	824	—	1,473	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,500	—	1,500	—	1,500	—
		実績	1,687	—	1,529	—	1,166	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		統計的有意性を向上させることが重要であるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	住民意識調査結果の施策指標活用件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和6年度	目標	5	—	10	—
				実績	3	—	4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	—	15	—	20	—
		実績	4	—	6	—	14	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		住民意識調査は区政運営のための資料であり、この結果を基に施策の方向性を定めていく。このため、各種計画策定等において資料として活用された件数を指標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民意識の変化や傾向を把握するうえで、今後も継続的な調査が必要である。

課題・問題点
設問数が多いため、設問数の削減が課題である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	中学生区議会経費（広聴活動費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3614
目 的	未来の墨田区を担う中学生たちに議会制度を実体験してもらうことにより、郷土に対する愛着心、関心を深めてもらうとともに、区政への提案・意見等を聴取し、区政運営に活かす。					
対 象 者	区立中学生					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名	
事業内容	本事業では、区内中学生を対象に、中学生区議として地域の課題及び、委員会質問や代表質問の発言内容を考えてもらう等の体験を通じて、自治制度を学んでもらい、未来の墨田区を担う子どもたちの郷土に対する愛着心を醸成する。また、質問の発言を通じて区に対する意見を聴取する。					
経 過	開始年度	平成6年度			終了予定	
	平成6年度：「子ども区議会」としてスタート 平成13年度：「中学生区議会」に名称を変更 ※平成6年度から毎年実施している。					
議会質問 の 状 況	【令和元年 決特】中学生区議会がより一層教育につながるよう、工夫をしてほしい。 →令和元年度は各中学校の質問作成に当たって、明治大学生が、課題発見や質問作成といった部分から、活動のサポートを行った。 →今後も教育委員会と調整を図り、よりよいものにしていく。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		106	103	103	95	95	95
A. 決算額（令和7年度は見込み）		48	46	53	61	72	95
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		48	46	53	61	72	95
執行率（％）		45.28％	44.66％	51.46％	64.21％	75.79％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		2,695	2,685	2,507	2,615	2,818	
予算書P（令和7年度）		P85-4		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-4	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	61	需用費	72	需用費	95
概 要		概 要		概 要	
お茶代・記章		お茶代・記章		お茶代・記章	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	中学生議員				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	40	40	40	40
				実績	40	40	40	40
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	20	20	20	20	20	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区議会制度を実体験した中学生の人数を指標とし、各校2人×10校を推薦人数としているため、最大20名を目標値とする。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「自分の思うように発言ができた」生徒の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和7年度	目標	-	100	100	100
				実績	-	75.5	82	85
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	75	80	90	90	90	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		自治体制度を学んだ中学生が区政に対する考えを主体的に発言できたかを示す「自分の思うように発言できたかどうか」というアンケートの結果を成果指標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・中学生に区政や議会制度へ関心を持ってもらうための効果的な事業である。 ・これからの墨田区を担う若い世代の意見を聴く貴重な事業である。 ・広報広聴担当、指導室、区議会事務局、中学校長代表との間で綿密に連携を取り、運営を効率的に行っている。

課題・問題点
中学生が区政の課題を理解し、より良い提案につながるように、研修動画等の工夫をしながら充実を図っていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 9

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する				
事 業 名	職員報ひろばの発行事業				
主管課	広報広聴担当	電話番号（内線）	3616		
目 的	職員報で「区の現状・課題、新規事業の情報」、「すみだの歴史や文化」、「業務以外での職員の活躍」などを取り上げ、区政を含む様々な情報を職員間で共有することで、各職員の日常業務へのモチベーションを向上させる。				
対 象 者	職員				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名
事業内容	区政情報を掲載して、来庁者への案内や各種の問合せ等実践的に活用できるようにするとともに、区職員のスタッフプライドの醸成を図っている。発行は毎月1回行っている。				
経 過	開始年度	昭和35年度		終了予定	
	平成15年4月号までは紙媒体で配布していたが、イントラネットの導入により、同年5月号より電子媒体で掲示している。作成にあたり、委託等はしていないため、事業予算は計上していない。				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	0	0	0
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	0	0	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	0
執行率（％）		－％	－％	－％	－％	－％	－％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		2,647	2,639	2,454	2,554	2,746	
予算書P（令和7年度）		－		執行実績報告書P（令和6年度）		－	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
概 要		概 要		概 要	

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	年間発行回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		12	令和７年度	目標	12	12	12	12
				実績	12	12	12	12
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	12	12	12	12	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		毎月１回、年間１２回の発行を目標値とする。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区政情報の掲載回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		12	令和７年度	目標	12	12	12	12
				実績	12	12	12	12
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	12	12	12	12	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区政情報の掲載という点で、毎月の掲載（年間１２回）を目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	スタッフブライドの醸成を図るためには、職員に区政情報を提供することが必要である。また、組織の理念やビジョンなどを職員に周知する媒体としても有効である。今後も、職員にとって必要な情報及び各課の要望に応じた情報を発信していく。

課題・問題点
今後もコンテンツに応じたデザイン構成などの工夫を図っていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 10

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	区のお知らせ印刷・配布経費					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3617
目 的	区の施策や事業等の情報を広く区民に提供し、区政への関心を喚起し、参画意識を醸成する。					
対 象 者	区民					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤5名、委託先：ヨシダ印刷(株)等	
事業内容	<墨田区のお知らせ「すみだ」の発行> 区的主要施策や事業等を広く区民に情報提供するために、定期的（月3回）に区報を発行している。 ●発行 タブロイド版を毎月1日（8面）、11日（8面）、21日（4面または6面）に発行。その他、点字版、録音版（デージー、テープ）を作成。 平成31年度（令和元年度）からは、DTPを導入し、職員自らが編集ソフトを使用して紙面制作をしている。 ●配布等 新聞折込みによる配布を行っている。また、区施設、区内官公署、駅、公衆浴場、スーパー等に広報スタンドを設置して配布しているほか、アプリの活用も実施している。平成29年度からは新聞未購読者を対象に戸別配付事業を開始した。					
経 過	開始年度	昭和34年度			終了予定	
	昭和34年度	区報第1号発行				
	平成19年度	配布先にスーパーマーケットやコンビニエンスストアを追加。メール配信開始。カラー・横書き化開始。				
	平成20年度	ページ数増加、表中の文字拡大、紙面変更等のリニューアル。				
	平成23年度	一部郵便局で区報の配布開始。区報PDF版と広報スタンド設置場所一覧を区ホームページに掲載。				
	平成27年度	区報閲覧用アプリでの配信開始。				
	平成28年度	全面リニューアル（プロポーザルにより、全ページのデザイン変更）、友好都市との紙面交換事業開始。				
	平成29年度	新聞未購読者向けに、戸別配付事業を開始。ジュニアレポーター事業を開始。				
	平成30年度	DTP導入に向けた環境準備、メール配信終了				
	平成31年度	DTP導入				
	令和5年度	区報閲覧用アプリでの配信終了（区HPに集約）				
議会質問 の 状 況	【平成28年予特／平成29年決特】区報の全戸配付→広報スタンド設置を広げていく。戸別配付の周知を図っていく。 【平成30年2月定例会】区報のあり方→電子媒体の発信強化、広報スタンド設置・戸別配付を拡大していく。 【令和3年3月予特】区報の全戸配付→今後ペーパーレス化の時代でもあるため、電子化も進めて必要とされる方に情報を届けられるように取り組んでいく。 【令和5年2月予特】区報の情報発信→紙媒体の発行部数は減少しているが、区HP・SNS・アプリ等での情報発信を強化していく。また、今後LINEを活用した情報発信を進めていく。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		58,146	59,755	59,175	61,022	67,338	65,241
A. 決算額（令和7年度は見込み）		53,602	54,193	54,632	55,335	56,987	65,241
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	730	753	515	490	355	1,500
一般財源		52,872	53,440	54,117	54,845	56,632	63,741
執行率（％）		92.19％	90.69％	92.32％	90.68％	84.63％	100％
B. 人コスト		44,110	43,980	40,895	42,560	45,770	
総事業費（A+B）		97,712	98,173	95,527	97,895	102,757	
予算書P（令和7年度）		P85-1(1)		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-1(1)ア	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	26,130	需用費	27,606	需用費	32,373
需用費	23,302	役務費	26,208	役務費	29,450
委託料	3,716	使用料及び賃借料	1,761	使用料及び賃借料	1,761
使用料及び賃借料	1,761	委託料	1,414	委託料	1,657
概 要		概 要		概 要	
・区報印刷・製本費 ・新聞折込・広報スタンド配付費等 ・HP版データ製作費 ・DTPパソコン借上費		・区報印刷・製本費 ・新聞折込・広報スタンド配付費等 ・HP版データ製作費 ・DTPパソコン借上費		・区報印刷・製本費 ・新聞折込・広報スタンド配付費等 ・HP版データ製作費 ・DTPパソコン借上費	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	戸別配付の利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		3,700	令和7年度	目標	200	200	1,000	1,200
				実績	-	728	1,444	1,871
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,500	2,800	3,100	3,400	3,700
		実績	2,296	2,616	2,853	3,244	3,569	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		新聞購読、スマホ等の所持の有無に関係なく、幅広い区民に区報を届ける手段であるため。発行部数の約2%を目標としたが、R1年度に目標達成したため、最終目標を発行部数の約6%に引き上げた。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区報を情報取得の手段とする区民の割合／住民意識調査				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		65	令和6年度	目標	51.3	-	55	-
				実績	51.3	-	66.5	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	60	-	63	-	65	-
		実績	53.4	-	66	-	55.1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区報の有効性の推移を測るのに適当であるため。H30年度に最終目標の65%を達成したが、一時的な結果と考えられる。今後は50%以上を基準とし目標値に向けて段階的に増加させていく。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	住民意識調査の結果のとおり、半数以上の区民が、区報を情報入手の最も有効な手段として考える一方で、新聞の購読者数は年々減少している。新聞折り込みで区報を入手する機会がない区民のため、区内主要施設での設置や戸別配付を行っているが、特に戸別配付は予想を上回る早さで登録者数が増えているため、引き続きこのニーズに応えていく必要がある。

課題・問題点
令和元年度から導入したDTPにより、主管課への原稿確認作業がデータで可能となった。校正期間が1日短縮でき、委託料や職員の人件費が削減できた。課題は、特集面等制作時における職員個人の紙面作成のスキルアップ（デザイン力や技術力の強化）である。区報の配布は、戸別配付希望者への対応拡充が引き続き必要である。区HPや点訳・録音版、アプリ等、紙以外の情報媒体の特性も活かし、多様なニーズを捉えながら、幅広く的確に情報提供できる手段を継続的に検討していく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 11

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	広報戦略の推進経費					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3612
目 的	すみだの地域力をより一層高めて、区民の地域に対する愛着と誇り（シビックプライド）の持続的な醸成を図るために、区民・事業者・区との信頼関係をさらに深め、各主体が連携し、広報活動を活性化させ、すみだの魅力の伝え合いの好循環に発展させる。					
対 象 者	区民・事業者・区外の方・職員					
根拠法令 関連計画	墨田区シティプロモーション戦略プラン（令和4年度～令和7年度）					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名、会計年度2名	
事業内容	本プランは、「まちの魅力の伝え合い」や「区職員の広報マインドの向上、スタッフプライドの醸成」を基本方針として、区民・事業者・区などが一体となった取組を推進していくため、「地域情報の発掘と研さん」やプロモーション媒体の有効活用」等の視点から、戦略的なプロモーションを図っていく。					
経 過	開始年度	令和4年度			終了予定	平成7年度
	平成28年度 墨田区広報広聴戦略プラン策定（平成28年度～令和3年度） ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、「墨田区基本計画」の計画期間の前期が令和3年度まで延長されたことから、本プラン期間も令和3年度まで延長した。 令和4年度 墨田区シティプロモーション戦略プラン策定（令和4年度～令和7年度）					
議会質問 の 状 況	・シティプロモーション戦略の全体としての評価 【令和3年 企画総務委員会（12/8）】 → 定性的評価のため、好事例の振り返りと シビックプライド醸成要因の共有を図る。 【令和4年 決算特別委員会（11/8）】 → 区民目線の迅速な情報発信で愛着度90%以上を目指し、地域との信頼関係を深め、すみだの魅力を伝えるプロモーションに取り組んでいく。					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 港区、江東区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、足立区					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		26,492	23,435	23,462	27,560	27,742	37,271
A. 決算額（令和7年度は見込み）		20,507	17,664	21,489	22,790	23,559	37,271
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		20,507	17,664	21,489	22,790	23,559	37,271
執行率（％）		77.41％	75.37％	91.59％	82.69％	84.92％	100％
B. 人コスト		17,702	17,592	16,404	17,304	18,398	
総事業費（A+B）		38,209	35,256	37,893	40,094	41,957	
予算書P（令和7年度）		P85-2		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-2	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	16,499	委託料	19,156	委託料	28,416
報酬	3,733	報酬	4,198	報酬	4,198
報償費	1,374	報償費	2,210	報償費	2,365
職員手当等	840	職員手当等	1,461	職員手当等	1,697
需用費	202	需用費	483	需用費	348
概 要		概 要		概 要	
・ シティプロモーション番組制作費 ・ すみだ伝え合いラボ運営費 ・ 墨田区公式ライン運用支援業務費 ・ 会計年度任用職員報酬等		・ シティプロモーション番組制作費 ・ すみだ伝え合いラボ運営費 ・ 墨田区公式ライン運用支援業務費 ・ 会計年度任用職員報酬等		・ シティプロモーション戦略プラン改定経費 ・ シティプロモーション番組制作費 ・ すみだ伝え合いラボ運営費 ・ 墨田区公式ライン運用支援業務費 ・ 会計年度任用職員報酬等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	プロモーションサポート申請数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		10	令和5年度	目標	10	10	10	10
				実績	18	11	9	11
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	9	9	8	23	29	
	目的に対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		プロモーションサポート事業への申請数を指標とし、平成29年度を基準に年間10事業を目標とする。 これにより、職員のプロモーション意識を高め、区の事業を魅力的に アピールする。						
		指 標	墨田区に愛着を感じる区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		90	令和4年度	目標	90	90	90	90
				実績	94.7	86.7	93.6	89
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	92.6	91.4	88.2	83.6	84.6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
本プランの定量的成果指標として90%維持を目標値とする。加えて、区の新たな取組や事業から得られた知見、地域の活動事例など、数値化できない部分は定性的な評価を行う予定である。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	・ 魅力的な地域における取組や区の事業を掘り起こすとともに、戦略プランに基づき、定性的な評価を検討していく。 ・ 墨田区に共感する人や愛着を感じる区民を増やすとともに、職員が誇りを持つことで、区全体の活性化を大いに引き上げていくための事業として継続していく必要がある。

課題・問題点
・ 墨田区のシティプロモーションの考えをまち全体に浸透させる。 ・ 全庁一丸となってシティプロモーションを展開する。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 12

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	法律相談、区民相談、専門相談の実施					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3615
目 的	弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士等の専門相談員を配置し、個別の相談業務を行うことにより、相談内容を的確に把握し、適宜・適切な助言を行う。					
対 象 者	区内在住・在勤・在学の方					
根拠法令 関連計画	区民相談室設置要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	再任用2名、会計年度6名	
事業内容	庁舎（すみだリバーサイドホール）1階にすみだ区民相談室を設置し、区内在住・在勤・在学の方を対象に、相談員が面談等により問題解決のためのアドバイスを無料で行っている。					
経 過	開始年度	昭和37年度			終了予定	
	昭和37年：法律・人権相談、区民相談開始 昭和46年：行政相談開始 昭和47年：交通事故相談開始 平成2年：外国人相談（中国語、英語）、更生保護相談、行政手続相談、不動産一般相談開始 平成7年：法律（登記）相談開始 平成20年：税務相談開始 平成22年：年金・労務相談開始 平成31年：行政手続相談を「くらしと事業の手続相談」に名称を変更					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		11,103	10,845	11,212	11,270	12,435	8,580
A. 決算額（令和7年度は見込み）		10,136	10,833	11,138	11,240	12,061	8,580
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		10,136	10,833	11,138	11,240	12,061	8,580
執行率（％）		91.29％	99.89％	99.34％	99.73％	96.99％	100％
B. 人コスト		19,420	19,644	18,749	19,114	17,061	
総事業費（A+B）		29,556	30,477	29,887	30,354	29,122	
予算書P（令和7年度）		P86-5(1)		執行実績報告書P（令和6年度）		P25-5(1)	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	9,853	報酬	10,081	報酬	7,242
職員手当等	544	委託料	937	委託料	938
報償費	376	職員手当等	540	報償費	400
委託料	278	報償費	400		
需用費	178	需用費	52		
概 要		概 要		概 要	
・法律相談員報酬等 ・外国人相談通訳者報酬 ・税務相談委託 ・消耗品		・法律相談員報酬等 ・外国人相談通訳者報酬 ・各士業団体への相談委託 ・消耗品		・法律相談員報酬 ・外国人相談通訳者報酬 ・各士業団体への相談委託 ・消耗品	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	相談の種類				単位	種類
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		11	令和7年度	目標	11	11	11	11
				実績	11	11	11	11
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11	11	11	11	11	11
		実績	11	11	11	11	11	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		相談の種類は、区民相談、法律・人権相談、中国語相談、英語相談、行政相談、行政手続相談、税務相談、交通事故相談、不動産一般相談、法律相談、年金・労務相談の11種類である。						
		指標	相談の件数				単位	件
	目的に対する指標 (成果指標)	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		6,000	令和7年度	目標	5,500	5,500	5,500	5,500
				実績	5,380	5,589	6,257	6,407
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	6,000
		実績	5,264	5,212	5,985	6,036	6,756	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		法律相談については相続や結婚・離婚、借地・借家に関する相談が多い。他の専門相談は、その年により相談件数に変動がある。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	専門家に相談できる重要な事業であり、区民ニーズも高く、一定の相談実績がある。さらに問題解決のアドバイスを無料で行うことで、気軽に相談することができる。今後も、各種相談があることを広く区民等へ周知するとともに、庁舎1、2階及びすみだリバーサイドホールの改修に係る在り方検討に合わせ、利用しやすい環境整備を進めていく。

課題・問題点
近年は相談内容が複雑化し、内容によっては相談回数を重ねて専門的に問題解決に取り組む必要があるものもあり、適切な相談機関を案内するなど早期問題解決の支援につなげていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 13

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	区民情報コーナーの管理運営経費（区民相談室運営費及び情報コーナー管理運営費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3615
目 的	区政に関する各種資料を常備し、閲覧等の要望に対応するとともに、各所管窓口への案内・誘導等を行うことで来庁者が求める区政情報を収集できるようにする。					
対 象 者	区民、来庁者					
根拠法令 関連計画	すみだリバーサイドホール条例（第3条第5号）					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	再任用2名、会計年度6名	
事業内容	庁舎・すみだリバーサイドホール1階に総合案内・区民情報コーナーを設置し、来庁者への案内を行うとともに区政情報を発信するため各種計画・報告書・資料等を提供する他、有料刊行物の販売も行っている。					
経 過	開始年度	平成2年度			終了予定	
	総合案内・区民情報コーナーとも区民からの多様な問い合わせに対応する必要があるため、経験・知識豊富な職員が業務を行っている。					
議会質問 の 状 況	【令和3年決算特別委員会】 区民情報コーナーを含め庁舎の1階全体の在り方について、より区民の利便性向上に資するような機能導入について検討してほしい。 どのような形がより区民サービスの向上につながるか1階全体の在り方について検討していく。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		4,657	4,619	4,825	4,790	5,604	9,506
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,586	4,515	4,718	4,655	5,479	9,506
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	652	638	622	552	596	1,077
一般財源		3,934	3,877	4,096	4,103	4,883	8,429
執行率（％）		98.48％	97.75％	97.78％	97.18％	97.77％	100％
B. 人コスト		19,420	19,644	18,749	19,114	20,256	
総事業費（A+B）		24,006	24,159	23,467	23,769	25,735	
予算書P（令和7年度）		P86-5(2)(3)		執行実績報告書P（令和6年度）		P25-5(2)	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	3,543	報酬	3,574	報酬	6,400
職員手当等	750	職員手当等	1,459	職員手当等	2,588
使用料及び賃借料	197	使用料及び賃借料	197	需用費	250
需用費	157	需用費	159	使用料及び賃借料	208
報償費	8	負担金補助及び交付金	82	負担金補助及び交付金	40
概 要		概 要		概 要	
・会計年度任用職員報酬 ・会計年度任用職員職員手当 ・刊行物販売協力金 ・消耗品 ・コピー機借上		・会計年度任用職員報酬 ・会計年度任用職員職員手当 ・刊行物販売協力金 ・消耗品 ・コピー機借上		・会計年度任用職員報酬 ・会計年度任用職員職員手当 ・刊行物販売協力金 ・消耗品 ・コピー機借上	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区民情報コーナー窓口対応件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		-	令和７年度	目標	-	-	-	-
				実績	10,630	10,743	10,410	9,305
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	-	-
		実績	7,803	7,296	7,215	6,234	5,685	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民等からの来庁者のニーズが多様化しているため、窓口対応件数は増えることが予想される。しかしながら、目標値を設ける指標ではないため、経年の実績を把握していく必要がある。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	総合案内受付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		-	令和７年度	目標	-	-	-	-
				実績	54,471	52,679	49,271	50,532
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	-	-
		実績	58,291	55,054	63,823	55,673	59,295	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民や来庁者が求める情報が多岐に渡るため、総合案内への問合せ件数も増える可能性がある。しかしながら、目標値を設ける指標ではないため、経年の実績を把握していく必要がある。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	総合案内・区民情報コーナーとも区民から多くの問い合わせがあり、そのニーズに応えているところであるが、今後、庁舎１、２階及びすみだリバーサイドホールの改修に係る在り方検討に合わせ、今後の方向性について、ICTの活用によるペーパーレス化など論点整理を図っていく。

課題・問題点
再任用・会計年度任用職員の配置により、効率化が図られているが、今後、庁舎１、２階及びすみだリバーサイドホールの改修に係る在り方検討に合わせ、ICTの活用など検証していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 14

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	区勢概要発行経費（広報活動費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3615
目 的	墨田区の行財政、教育、産業経済、福祉などの事務事業に関する概況と成果や、区民生活に関係の深い区内官公署等の概要を一般に紹介する。					
対 象 者	区民、庁内各課、出先機関、区議会議員、区内官公署、町会・自治会、特別区等					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1名、委託先：（株）ブルーホップ	
事業内容	区政の各分野で推進している事業のねらい、現状、問題点、将来に向けての展望などとあわせて、事業にかかわる基礎的データをまとめた資料を作成し、区民や関係各機関などに配布する。					
経 過	開始年度	昭和22年度			終了予定	
	区勢の現状、経過等を経年でまとめている基礎資料として、区民、庁内各課、出先機関、区議会議員、区内官公署、町会・自治会、特別区等に配布している。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		1,934	1,830	1,924	2,128	1,758	2,219
A. 決算額（令和7年度は見込み）		1,806	1,816	1,903	2,069	1,756	2,219
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,806	1,816	1,903	2,069	1,756	2,219
執行率（％）		93.38％	99.23％	98.91％	97.23％	99.89％	100％
B. 人コスト		882	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		2,688	4,455	4,357	4,623	4,502	
予算書P（令和7年度）		P85-1(2)		執行実績報告書P（令和6年度）		P24-1(1)イ	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	1,969	需用費	1,634	需用費	2,095
役務費	100	役務費	122	役務費	124
概 要		概 要		概 要	
・区勢概要の印刷・配布		・区勢概要の印刷・配布		・区勢概要の印刷・配布	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	制作数				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		800	令和7年度	目標	850	850	850	850
				実績	850	850	850	850
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	850	850	850	800	800	800
		実績	850	850	800	800	750	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		配布対象先及び予備のために必要な部数を確実に作成する必要がある。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	配布数				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		775	令和7年度	目標	825	825	825	825
				実績	825	825	825	825
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	825	825	825	775	775	775
		実績	825	825	775	775	725	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		配布対象先からの送付の不要の依頼等で配布数は当初と変更になっているが、予備部数25部を除き配布対象先に確実に配布する必要がある。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	区勢全般を理解し、分野毎の事業、施設の概要を把握する資料として意義があるが、年々、ページ数が増加する中で、改善・見直しを検討していく。

課題・問題点
ホームページでの電子閲覧化に伴い、制作数や配布数についても見直しを検討していく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 15

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	国内都市との交流推進経費					
主管課	文化芸術振興課				電話番号（内線）	5456
目 的	友好交流締結都市を初めとする国内都市との交流を推進することで、区民に様々な体験をする機会を提供するとともに、防災協定、広報協定など、様々な分野での協力関係が構築されている。また、特別区長会が推進する「特別区全国連携プロジェクト」において都市と地方の双方が共存共栄する新たな関係づくりが構築されている。					
対 象 者	各友好都市の自治体、各友好都市の区民・町民・市民等 北海道十勝地域（西部4町）と台東区及び墨田区の住民					
根拠法令 関連計画	墨田区都市交流推進委員会設置要綱、地域再生計画、墨田区総合戦略					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2	
事業内容	【事務業概要】 友好交流締結都市を初めとする国内都市との交流事業の実施 1 長野県小布施町と墨田区民との交流事業（都市農村交流）（春季・秋季） 2 長野県小布施町の栗ガ丘小学校6年生の体験学習 3 長野県小布施町の「六斎市」に「墨田区伝統工芸保存会」が出展し地元町民との交流と伝統工芸のPR 4 墨田区交流都市紹介展（パネル展）の実施（台東区・長野県小布施町・山形県鶴岡市・栃木県鹿沼市等） 5 「大地のタカラ×江戸のチカラ関係人口創出プロジェクト」（R2～R4、台東区・北海道十勝地域と共同実施） ※R6年度は十勝西部4町（鹿追町、新得町、清水町、芽室町）がすみだまつり物産店に出店					
経 過	開始年度	平成4年度			終了予定	
	【長野県小布施町】平成5年3月、葛飾北斎に関する3つの自治体又は美術館（墨田区・小布施町・津和野町）で構成する北斎三館協議会が設立されたことをきっかけに交流が始まり、平成8年5月1日「墨田区と小布施町との友好協力に関する協定」・平成8年7月22日「防災相互応援協定」締結 【山形県鶴岡市（旧・朝日村）】県人会が両国会堂を使用していた縁で、区の子供達の交流を呼びかけ。（墨田区少年団体連合会が窓口）。平成9年7月14日「友好協定」締結 【栃木県鹿沼市（旧・栗野町）】昭和53年「あわの自然学園」開設、昭和55年7月15日「友好協力事業協定」締結（栗野町と鹿沼市合併を機に友好協定解消）、平成24年10月13日「友好交流・協力に関する協定」締結 【特別区全国連携プロジェクト】令和元年度 地域再生計画の策定及び認定。令和2～令和4年度まで北海道十勝地域（18町村）・台東区と事業実施。					
議会質問 の 状 況	令和7年3月（地域産業都市委員） ・特別区全国連携プロジェクトで始まった北海道十勝地方との交流について、来年度はどのような取組・体制を考えているのか （答弁）芽室町との食を通じた交流の窓口は保健計画課が担い、それ以外の範囲は、文化芸術振興課が窓口になる予定。食に関する交流の連絡会の立ち上げを検討している。					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和7年5月（春季）9月（秋季） 長野県小布施町と墨田区民との交流事業の実施（都市農村交流） 春季中止 令和7年10月 友好都市との交流事業（すみだまつり物産展） 令和7年10月 長野県小布施町の栗ガ丘小学校6年生の体験学習					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		4,561	6,450	6,146	3,761	689	1,217
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,190	5,971	5,443	2,571	635	1,217
財 源	国	1,691	2,553	2,259	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	2,493	3,000	3,000	2,000	0	0
一般財源		6	418	184	571	635	1,217
執行率（％）		91.87％	92.57％	88.56％	68.36％	92.16％	100％
B. 人コスト		7,058	7,037	6,543	6,810	7,323	
総事業費（A+B）		11,248	13,008	11,986	9,381	7,958	
予算書P（令和7年度）		P119 3-3		執行実績報告書P（令和6年度）		P57	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	1,216	使用料及び賃借料	385	使用料及び賃借料	967
負担金補助及び交付金	831	需用費	114	需用費	141
使用料及び賃借料	277	旅費	95	負担金補助及び交付金	80
旅費	157	負担金補助及び交付金	40	旅費	22
需用費	88	役務費	1	役務費	7
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	国内友好都市との交流回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和7年度	目標	5	5	5	5
				実績	5	5	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	1	1	1	4	4	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	国内友好都市の交流回数を増やすことより、内容を充実させ、住民同士の交流を実現させることが大切と考える。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	文化・産業・観光課連携自治体累計数				単位	自治体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		55	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55	55	55	55	55
		実績	40	40	40	34	38	
指標の選定理由及び目標値の理由								
墨田区総合戦略で、地方との交流や提携を強化するための重要業績評価指標として目標を示している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	民間交流が縮小傾向である中、区が友好都市との関係性を維持する為に、今後の都市交流のあり方を再検討する必要がある。

課題・問題点
地域間の交流を深め、互いの理解や様々な分野で連携を深める機会とするため、今後も有益な実施方法を検討していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 16

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	SDGs未来都市推進経費					
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5433			
目 的	令和3年度に「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されたことを受け、SDGs宣言を行った事業者・団体の活動を促進するとともに地域へと波及させるため、「すみだSDGsアワード」を実施する。					
対 象 者	墨田区SDGs宣言を行った事業者・団体等					
根拠法令 関連計画	・墨田区中小企業振興基本条例 ・SDGs未来都市計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2・委託先：株式会社ウェブリカ	
事業内容	「墨田区SDGs宣言」を行った事業者・団体の優れた取組をモデルケースとして表彰するとともに、取組のPRと取組推進に向けたサポートを行う。 取組推進サポートは受賞企業の希望制とし、（一社）東京都中小企業診断士協会城東支部の協力により実施する。					
経 過	開始年度	令和6年度			終了予定	
	令和6年度「すみだSDGsアワード」 応募数16件、アワード受賞9件、準アワード受賞2件 アワード・準アワード受賞11件のうち、取組推進サポート実施4件					
議会質問 の 状 況	■令和6年予算特別委員会 産業観光部と企画経営室（未来都市共創会議）の連携及び事業目的について（企画経営室答弁）					
そ の 他 特記事項	なし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	0	1,000	1,000
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	0	1,000	1,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	1,000	1,000
執行率（％）		- ％	- ％	- ％	- ％	100 ％	100 ％
B. 人コスト		0	0	0	0	5,492	
総事業費（A+B）		0	0	0	0	6,492	
予算書P（令和7年度）		P198-21		執行実績報告書P（令和6年度）		P150-22	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
		委託料	1,000	委託料	1,000
概 要		概 要		概 要	
		すみだSDGsアワード実施委託		すみだSDGsアワード実施委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	すみだSDGsアワード応募数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		20	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	15	20
		実績	—	—	—	—	16	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域の事業者・団体のSDGsに対する関心度を測れるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	すみだSDGsアワード表彰数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		10	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	10	10
		実績	—	—	—	—	11	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域の事業者・団体のSDGs達成に向けた行動を促進し地域に波及させていくためには、一定程度の表彰数を確保する必要があるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	初年度としては、質・量とも一定程度の応募及び表彰を確保することができたが、令和7年度は対象や審査等について見直しを行った上で、行政経営担当との連携により実施する。

課題・問題点
・区としてSDGs推進の目的や対象を明確にした上で、適切な実施体制の整備等が必要である。 ⇒今年度については行政経営担当所管事業との連携により実施しつつ、引き続き行政経営担当との調整を進めていく。